

町民の声

あの日から六年

北黒田 一町民

あの日、実家は崩れ落ちてしまったと思った。東京にいた子供は「帰宅難民」になった。そして知人の家は流され、友人はご主人を失った。たくさんさんの命と穏やかな日常を一瞬にして奪ったあの東日本大震災から

もう、六年がたった。

当時、テレビから流れてくる信じられないほどの映像にただただくぎづけになり私は心まで疲弊していった。同じように多くの方も胸を痛めたことと思う。

そんな中、スーパーに出かけると物があふれ、何事もなかったかの様な日常に、一体、どちらが現実の世界なのだろうか。と錯覚さえしてしまうほど

どだった。同時に被災地

との微妙な温度差を感じたのは、私だけではなかったにちがいない。被災地に身内や知人がいたひと。いないひと・・・

「災害は忘れた頃にやってくる」の警句どおり、ちょうど一年前には熊本地震が起きた。近い将来、南海トラフ地震は必ず起こるといわれている。復興の兆しがみえて

いるとはいえ、未だに

十二万人以上の人々が避難を強いられ、原発も収束がまだみえていないのも事実である。ましてや、避難者いじめなんてもつてのほかだ。

「避難袋だけは最低限用意したほうがいいよ」と被災した友人にいわれている。『明日は我が身』。最低限の備えを肝に銘じておきたいと思う。

傍聴席

松前町・観光維新

上高柳 山本 明

町議会一般質問を始めて傍聴した。出席議員の姿を見て思わず「新鮮さ」を感じる。

傍聴の目的は、ある議員の「町の活性化対策は？」である。失礼ながら松前町の観光開発に向けた取組に対し、以前よ

り疑問を感じていた。議員の「町の特徴や地域資源の掘り起こし。」「町内外にアピールし観光資源に繋げる。」まさに言われるとおりで共感する次第である。

これは、岡本町長の公約にも合致するようである。まさに「維新」である。

この機を捉え、町と民が一体になり推し進めていきたいものである。町民はもとより、町外

の人々への共感を得て、松前町へのリピートを増やす。

「松前町へ行くこう。」が合言葉になる様に、一町民として協力は惜しまない。



「町民の声」をお寄せ下さい

ご意見・ご要望などをお寄せください。

次号議会だよりの掲載の締切りは5月末です。

投書多数の場合は、委員会掲載文を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

300字程度で必ず
名前・住所・連絡先・ペンネーム(希望する場合)をお書きください。

【宛先】

松前町筒井631
議会広報常任委員会 「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail
500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも傍聴できます。

議会は、本会議と各常任委員会に傍聴席を設けて公開しています。

多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。(次回は6月中旬からの予定です。)

本会議は、町ホームページでライブ中継を行っています。また、議会終了後、録画配信も行っています。ご覧ください。

